

# すみれ共同作業所 ニュース

第74号  
2017年3月31日

- 事業内容**
- ◆生活介護事業  
なかまの働く店  
「フレンドワーク」  
「うるるカフェ」
  - ◆共同生活援助事業  
グループホーム  
「かえりの家」  
「わくわくホーム」  
「ぼぶら」「いぶぎ」  
「もえぎ」
  - ◆日中一時支援事業
  - ◆居宅介護事業
  - ◆移動支援事業
  - ◆指定特定相談支援事業

社会福祉法人  
大阪福祉事業財団  
すみれ共同作業所  
所長 松村 秀明  
〒五三六〇〇〇一  
大阪府城東区古市一丁目三三八  
電話(〇六六九三四一四六〇七)



新年度を目前にひかえる時期となりました。すみれ共同作業所も新年度へ向けて、今年度のまとめ、そして次年度の事業計画の作成など、一年のなかでも一番慌ただしい時期でもあります。国や自治体でも新年度に向けた準備がすすんでいます。障害者福祉をめぐる新たな見直し作業がすすめられています。

## 高齢障害者が安心して利用できる制度にしていくために

すみれ共同作業所 所長 松村 秀明



障害者が65歳になると介護保険の適応が優先され、これまで受けていた障害サービスが受けられなくなったり、新たに利用料が発生するという、いわゆる65歳問題があらためて大きくクローズアップされています。そのなかで、生活介護事業を利用する障害者が65歳になって介護保険に移行しても、引き続き同じ障害者の事業所でサービスが受けられるようにするという改定案が検討されています。作業所

にも今年65歳を迎える方がおられます。引き続き作業所を利用できるのはいいことなのかも知れませんが、これまで市民税非課税で無料だった利用料のことで、作業所が介護保険の事業所指定を受けると、障害者の生活介護の方が介護保険のデイサービスよりもずっと職員配置が厚いのが現在の基準ですが、そこがどうなるのかなど、まだ明確になっていないところがたくさんあります。高齢障害者にとって安心して利用できる制度となるよう、今後も国や自治体に私たちの声を届ける活動を続けていかなくてはなりません。



## 季香

今年の春は別れが続きました。数年前に他施設に移行した利用者さんと最後のお別れがあり、「楽しい人生だった」と親族の挨拶に感無量でした。また、30数年作業所に通所していた利用者さんが新たな生活の場へと退所していきました。別れはさびしいのですが、新たな場での生活が充実したものであるように願うばかりです。

2018年作業所は40年を迎えます。2017年度から40周年記念事業に向けての検討も始まります。40年間様々な方たちに支えられてきた歴史や積み重ねてきた実践を振り返りながら、未来に向かっての発展と展望を見据えていけるような「40周年事業」を行っていったらいいと思います。

(中村)





# はるよこい! はるやくこい! みんなで春を呼んで来たよ

冷たい風の中にも春の香りが届くようになった2月、22日(水)23日(木)の2日間にわたり「春を呼ぶなかまの作品展」が開催されました。開催するにあたり、すみれ共同作業所のなかまが描いたチラシを作成し、広報役として

ぶんたつた自治会役員の佐藤さん、河井さんが城東ブロック構内の各施設へ宣伝にまわりました。作品展示はうえるほうる入口から2階へ続くところから始まり、展示会さながら大作を連ねた習字クラブ、会場をかぐわしい花の香りではいっばいにした生け花クラブ、季節をテーマに楽しく取りくんだ絵手紙クラブや美術クラブの作品が並び、また、地域の障害者事業所のしるきたみどり福祉作業所、フォローワーク、しどろもどろ

(ほつとステーション)の出展でさらに彩豊かに魅せます。愛育館「えがおのパン」と作業所あかり「水耕栽培野菜」の販売もあり賑やかに開かれた初日、舞台発表をするバイオリンククラブの音色が館内いっぱい響きわたり、会場は感動の渦に包まれました。可愛らしいフラガール&フラボーイのフラダンス発表や手作りケーキとドリンクでホつとひとときを楽しめるブースもあり盛りだくさんの2日間、出展協力し作品展と一緒に盛り上げているフォローワークのなかまもこの時を楽しみに作品作りに励んでいると声を寄せてくれました。また来春、どんな作品に出会えるのか楽しみにしています。(高島)



# きょうされん 「第23回 なかまの作品展」 に行ってきました

3月3日(金)、秋本さん、西野さん、福永さんの3名が、きょうされん大阪市内ブロック主催の「なかまの作品展」を見学しました。(3月3・4日開催)会場は昨年に続き、西区南堀江の「ミローホール」です。会場に入ると、色とりどりの個性あふれる作品が、所狭しと展示されており、とても楽しい空間になっていました。まずは、



すみれ作業所のなかまの作品探し。ひとときわ輝く作品の中に、自分たちの作品を見つけた3人は、とてもご満悦の様子でした。また、多数の出展作品の中から、見事、西畑さんの習字作品が『みちみちているで賞』を受賞しました。西畑さん、おめでとう!



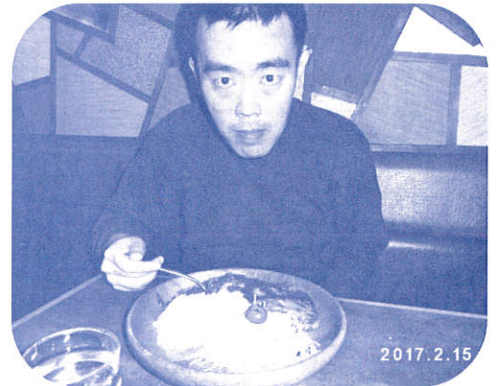
帰りにはホールの隣にある、なかまが働く喫茶店「カフェミロー」でひと休み。なかまの素敵な作品に、心がほっこりしたひと時でした。(杉本)

## 第一作業室外出活動

# いっぱい遊んで、 いっぱい食べてきました!!

2月15日(水)第一作業室のなかま全員でアミティ舞洲に行きました。現地に到着すると、サブアリーナに移動し、お楽しみ時間がスタート!みんな先ずはトランポリンに飛び乗り何度も何度もジャンプしてフワフワとした感覚を楽しんでいました。トランポリンの次はボールプールに入り、全身をたくさんボールに囲まれ楽しんでいました。その他にも大きなバランスボールに乗ったり、ハンモックで寛いだりとみんな自分の好きな遊具で思う存分楽しんでいました。全身で力一杯遊ん

だ後は、お昼ご飯を食べに行きました。メニューはハンバーグカレー!!好物の人も多く、あっという間に食べ終えた人、じっくり味わって食べた人様々でしたが、みんな満足そうに食べていました。食事の後は、ゆつくりとアイスコーヒーを飲んで締めくくりました。遊んで食べて1日存分に楽しみました。(奥山)







# ～障害者福祉制度の充実を～ きょうされん 国会請願署名の取り組み



昨年12月から取り組んでいる「きょうされんの国会請願署名・募金運動」は、既に多くの方々にご協力頂いています。この場を借りまして担当者一同お礼を申し上げます。

2014年に日本は、障害のある人も障害のない人と同じように人として当たり前の権利と自由が認められる社会の実現をめざし「障害者権利条約」を批准しました。昨年6月には、障害者総合支援法の「施行3年後の見直し」が行われました。しかし国の財政抑制が強調され総合支援法見直しは大きく制約されたといつても過言ではありません。障害者にとつても、私たちにとつてもより良い社会である為に、早急な国の責任による障害福祉制度の充実が求められます。

## 「寒さに負けず がんばりました」

3月9日、すみれ共同作業所でもなかまとともに署名活動を実施しました。藤井百合子



さん・福永さん・秋本さんの3人とともに関西スーパー古市店前にて行いました。

風が強く寒い日でしたが、みなさん通行されている方々に「署名お願いします」と声をかけていました。はじめのうちは小さな声でしたが、立ちどまって署名、募金をしてくださる方が現れると「ありがとうございます」と笑顔と大きな声でお礼を言っていました。短い時間でしたが寒さに負けず、楽しんで署名活動を行いました。

(中井)

## 法人後援会 会員募集のお願い

2001年12月「人を人として大切にす本当の社会福祉の実現を目指して、結びつきと絆を大切に、輪を広げましょう」との呼びかけで、法人後援会が結成されてから16年目を迎えました。

日本の社会保障・社会福祉の制度が大きく改善されていく中、法人各施設の増改築や新しい施設作りなどの事業に、法人後援会からは大きなご協力をいただけてきました。

権利としての社会福祉を前進させるため、皆様の一層のご協力をお願い致します。

### ● 大阪福祉事業財団後援会 ●

年会費 / 個人 3,000円 団体 10,000円  
郵便振込 / 大阪 00900-3-14013

#### お申し込みは

すみれ共同作業所 又は  
大阪福祉事業財団後援会事務局 まで  
☎06-6931-2983

## 「福祉のひろば」 の案内

大阪福祉事業財団では、総合社会福祉研究所編集の月刊誌「福祉のひろば」を発行しています。

「福祉のひろば」は、様々な角度から福祉の現状をとらえ、そのあり方を考える内容になっています。

ご購入を希望される方は、すみれ共同作業所までご連絡をお願いいたします。



## 寄付・寄贈

(2016年11月～2017年2月)  
松岡さんにジュース・ケーキを  
いただきました。  
ありがとうございました。